

関東内陸地域における広域的観光活性化

計画のポイント

巨大な観光需要を抱える首都圏の周縁部に位置する特性を最大限に活かし、関越道、上信越道、北関東道から観光地へのアクセスを強化するとともに、民間と連携した観光PRや自然環境保護活動に広域で取り組むことにより、世界遺産等の歴史的文化遺産や豊かな自然環境が有機的に連携した広域的な観光活性化を図る。



山梨静岡交流圏域における観光振興による広域的地域活性化

計画のポイント

富士山を中心とし南は伊豆半島までを含む山梨静岡交流圏域において、富士山周辺や伊豆半島に分布する観光地間のアクセスを強化するとともに、広域での観光ルート形成に向けた調査や広域観光マップづくり等の取組を通じて、県境を越えた周遊観光を促進し広域的な地域活性化を図る。



- 観光拠点
- 主な基幹事業 (道路整備、修繕)
- 〰 周遊観光ルート調査 地域連携道路調査

計画期間 平成22年度～平成26年度

1. 計画の目標

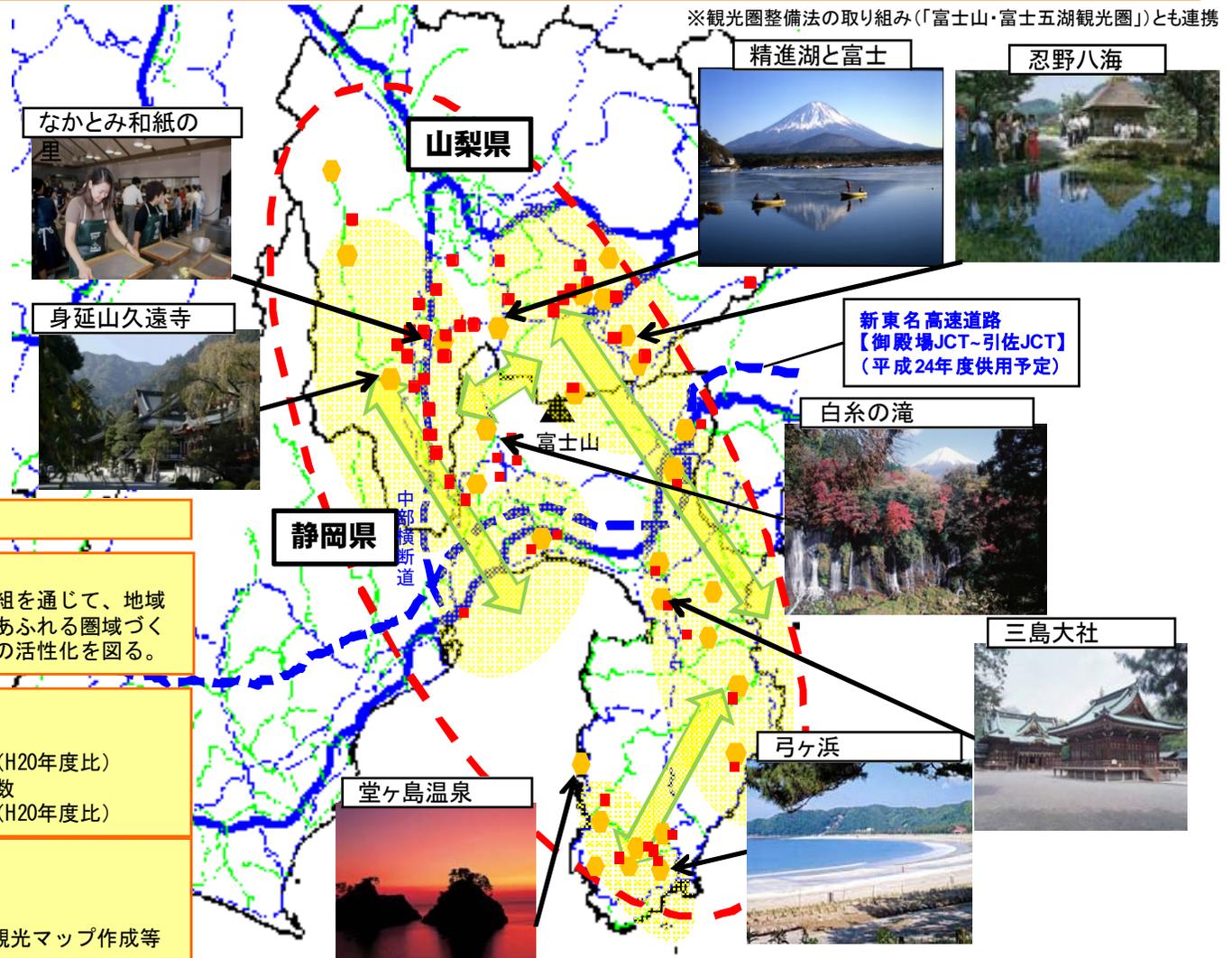
山梨静岡交流圏域において、交流・連携した取組を通じて、地域の価値を高め、豊かなくらしを実感できる、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、将来にわたり交流圏の活性化を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

- 山梨静岡交流圏域における観光入込客数の増加
H26年度 5.6%増 (H20年度比)
- 山梨静岡交流圏域における海外から観光客増加数
H26年度 16.3%増 (H20年度比)

3. 主な事業

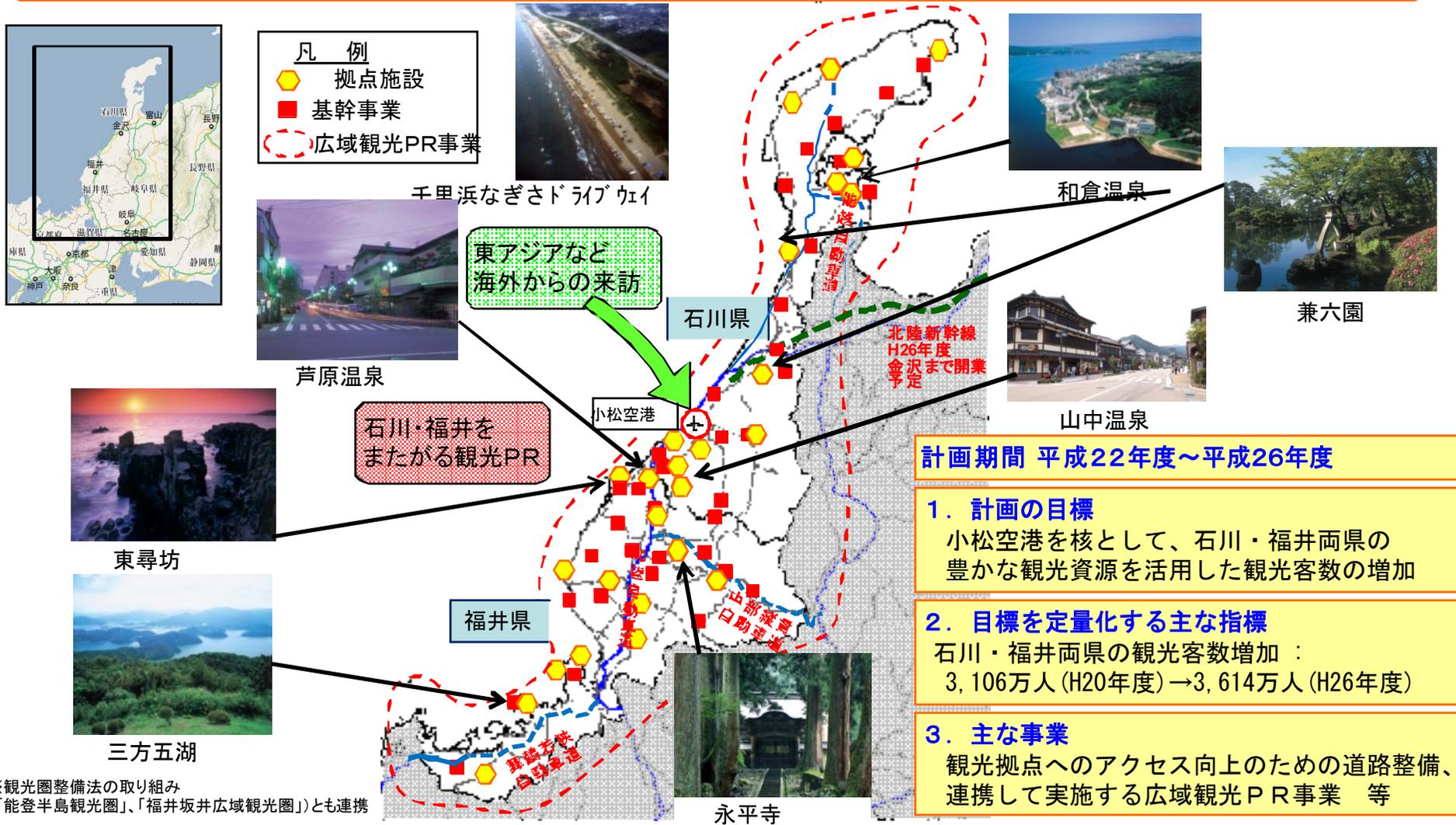
観光拠点へのアクセスを高めるための道路整備、観光地の魅力を高めるための海岸整備、両県が連携して行う広域観光ルート調査、広域観光マップ作成等



能登～加賀～越前～若狭をつなぐ広域観光活性化計画

計画のポイント

温泉や優れた自然景観、歴史・文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と福井県が密接に連携し、優れた地域資源の充実を図るとともに、北陸新幹線や小松空港、北陸自動車道等の高規格幹線道路における交通結節点と観光拠点施設間、または観光拠点施設同士を相互に連絡する広域的な周遊観光ルートを整備することにより、観光交流人口を増大させ、地域振興を図る。また、両県が連携して、より広域的な観光PRを実施することで、広報活動の効率化を図る。



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした紀伊地域の活性化

計画のポイント

紀伊地域において、奈良県、三重県、和歌山県の3県に跨る世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とし、3県が連携して広域的な観光振興施策を実施することにより、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。



計画期間 平成22年度～平成26年度

1. 計画の目標
 3県に跨る世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を中心とした歴史・文化・自然等の地域資源を活用し3県が連携することにより県域を越えた交流促進・観光振興等を図る。

2. 目標を定量化する主な指標
 奈良県、和歌山県、三重県の観光客入込客数の増加
 10,090万人(H20) → 10,700万人(H26)

3. 主な事業
 観光拠点へのアクセス向上のための道路整備、3県連携で実施する広域周遊観光ルート形成のため調査、広報等

・三県連携で作成したパンフ・ポスター
 ・旅行会社や鉄道事業者と連携

凡例

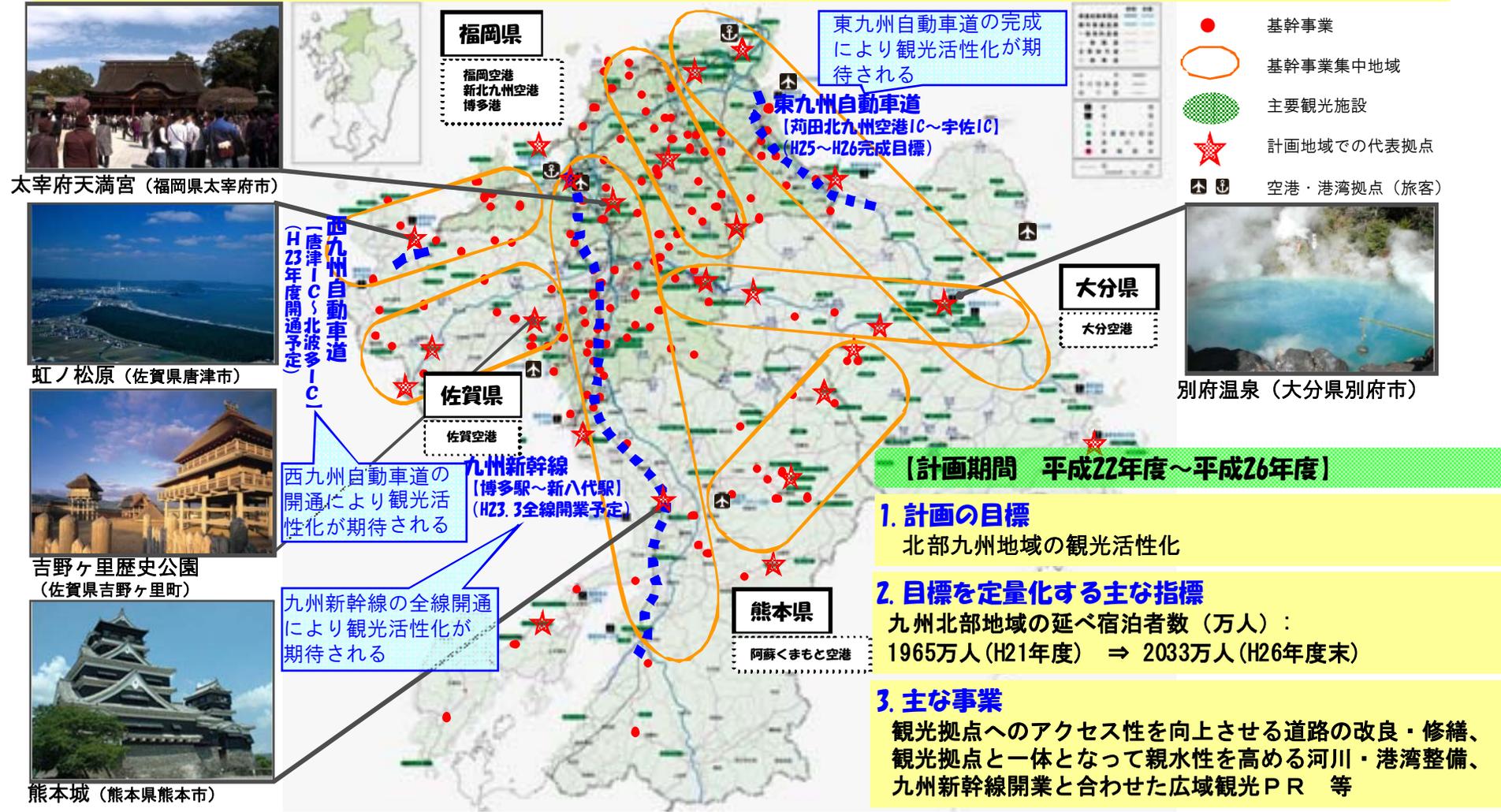
- 拠点施設(参詣道)
- 拠点施設
- 基幹事業
- 観光促進エリア

※観光圏整備法の取り組み(「聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏」)とも連携

北部九州地域における広域的な観光活性化

計画のポイント

九州新幹線、東九州自動車道および西九州自動車道の開通を契機に、本州方面からの観光客が増大するとともに九州内の移動効率性も高まり、既存交通網との連携を強化することで、北部九州地域での観光活性化のポテンシャルが相乗効果的に高まると期待される。また、アジア地域からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点と景勝地や滞在型観光施設である温泉街等の観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備するとともに、観光客誘致活動を広域に展開することにより、九州北部地域の活性化を図る。



北部九州地域における広域的な産業物流の効率性向上

計画のポイント

九州北部地域（福岡県、佐賀県、大分県、熊本県）の主力産業である自動車関連、半導体関連等の事業活動を促進するため、広域的な物流拠点とのアクセス、地場企業と最終組立工場との相互アクセス性を高めるとともに、ビジネスマッチング等のソフト面での取組を進めることで、域内全体の産業経済活動の国際競争力を向上させる。

